保育士課程　　子ども学類

◇保育士とは

保育士とは、厚生労働省が定める、保育に欠ける０歳から６歳までの乳幼児をあずかる保育所とその他の児童福祉施設等で保育に従事する職員です。業務内容は、保育を必要とする子どもを家庭にかわって、健康・安全面に配慮し、保護者と連携をとりながら保育にあたることです。

◇保育士課程の履修について

1．子ども学類に児童福祉法施行規則第６条の２に基づく保育士課程を置きます。
2．子ども学類の学生で、保育士資格を取得しようとする学生は、本学学則第35条に示す授業科目のうちから第47条に定める卒業単位にあわせて、厚生労働大臣の指定する資格取得に必要な授業科目及び単位を取得しなければなりません。
3．保育士資格を取得しようとする学生は、３年次に「保育実習Ⅰ（保育所・施設）」20日間の学外実習に加えて、３年次の「保育実習Ⅱ（保育所）」10日間または４年次の「保育実習Ⅲ（施設）」10日間のうちどちらかを選択して、計30日間の学外実習を行います。
4．保育士資格を取得しようとする学生は、保育実習実施の前年度までに必修科目（告示別表第１による教科目）の単位を修得できなかった場合、原則として保育実習を履修することができません。
5．資格取得に必要な授業科目の履修方法は次の通りです。

⑴　教養科目（教養教育科目）
必修科目を含めて 10 単位以上選択必修（外国語２単位、体育２単位は必ず履修すること）

			授業科目	単位数	履修方法	履修時間	必選	開講学年
教養科目	必修科目	外国語	英語リーディング	②	演習	30	○	1
			英語コミュニケーション	②	演習	30	○	1
		体育	健康・スポーツＡ（講義・実技）	1	講義・実技	30	○	1
			健康・スポーツＢ（講義・実技）	1	講義・実技	30	○	2
	選択必修科目	外国語・体育以外の科目	キリスト教概論Ⅰ	①	講義	30	△	1
			キリスト教概論Ⅱ	①	講義	30	△	1
			芸術論	2	講義	30	△	1
			法学概論（日本国憲法）	2	講義	30	△	1
			生命の科学	2	講義	30	△	1
			ＡＩ社会とデータサイエンス	②	講義・演習	30	△	1
			情報リテラシー	②	演習	30	△	1
			情報処理演習	2	演習	30	△	1
			情報倫理	2	講義	30	△	2

⑵　専門科目
必修科目63単位　告示別表第１

告示別表第１による教科目				当該養成施設における開設状況						
	系列	教科目	単位数	本学開設授業科目名	単位数	履修方法	履修時間	区分	必選	開講学年
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	②	講義	30	専門	○	1
		教育原理	2	教育原理	②	講義	30	専門	○	1
		子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	②	講義	30	専門	○	2
		社会福祉	2	社会福祉	2	講義	30	専門	○	2
		子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	講義	30	専門	○	2
		社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	②	講義	30	専門	○	1
		保育者論	2	教職概論（幼）	②	講義	30	専門	○	1
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学	②	講義	30	専門	○	1
		子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	講義	30	専門	○	3
		子どもの理解と援助	1	子どもの理解と保育	②	演習	30	専門	○	1
		子どもの保健	2	子どもの保健	②	講義	30	専門	○	2
		子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	演習	30	専門	○	2

○：卒業必修単位

	系列	教科目	単位数	本学開設授業科目名	単位数	履修方法	履修時間	区分	必選	開講学年
必修科目	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	教育課程論（幼）	2	講義	30	専門	○	2
		保育内容総論	1	保育内容総論	②	演習	30	専門	○	3
		保育内容演習	5	保育内容指導法　健康	②	演習	30	専門	○	1
				保育内容指導法　人間関係	②	演習	30	専門	○	2
				保育内容指導法　環境	②	演習	30	専門	○	2
				保育内容指導法　言葉	②	演習	30	専門	○	1
				保育内容指導法　表現Ⅰ（造形）	②	演習	30	専門	○	2
				保育内容指導法　表現Ⅱ（音楽）	②	演習	30	専門	○	2
		保育内容の理解と方法	4	音楽Ⅰ（楽典）	1	演習	30	専門	○	1
				ピアノ伴奏法	1	演習	30	専門	○	1
				図画工作	2	演習	30	専門	○	1
				体育	2	演習	30	専門	○	3
		乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	②	講義	30	専門	○	3
		乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	2	演習	30	専門	○	3
		子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	演習	30	専門	○	2
		障害児保育	2	特別支援保育	②	演習	30	専門	○	2
		社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	演習	30	専門	○	3
		子育て支援	1	子育て支援	1	演習	30	専門	○	3
	保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所・施設）	4	実習	30	専門	○	3
		保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所・施設）	2	演習	30	専門	○	3
	総合演習	保育実践演習	2	教職実践演習（幼）	2	演習	30	専門	○	4
合　計			51		63					

選択必修科目から９単位以上選択必修（ただし、「保育実習Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅱ」の３単位または「保育実習Ⅲ」及び「保育実習指導Ⅲ」の３単位のいずれかを含む）

告示別表第２による教科目				当該養成施設における開設状況						
	系列	教科目	単位数	本学開設授業科目名	単位数	履修方法	履修時間	区分	必選	開講学年
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	指定保育士養成施設において設定	15単位以上	保育・教育実践演習	②	実験・実習	30	専門	△	2
	保育の対象の理解に関する科目			母子保健	2	演習	30	専門	△	4
	保育の内容・方法に関する科目			児童文化	2	講義	30	専門	△	2
				子どもの造形表現	2	講義	30	専門	△	3
				子どもの身体表現	2	講義	30	専門	△	1
				音楽Ⅱ（器楽基礎）	2	演習	30	専門	△	2
				合唱	2	演習	30	専門	△	2
				日本語表現法	2	講義	30	教養	△	2
	保育実習	保育実習Ⅱ または保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ（保育所）	2	実習	90	専門	△	3
				保育実習Ⅲ（施設）	2	実習	90	専門	△	4
		保育実習指導Ⅱ または保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ（保育所）	1	演習	30	専門	△	3
				保育実習指導Ⅲ（施設）	1	演習	30	専門	△	4
合　計			18		22					

○：卒業必修単位